

岡山市の教育に対する決意 「教育大綱」とは？

市長が教育委員会と協議をして策定した、教育の振興に関する施策の目標や方針のことです。

教育施策の目標

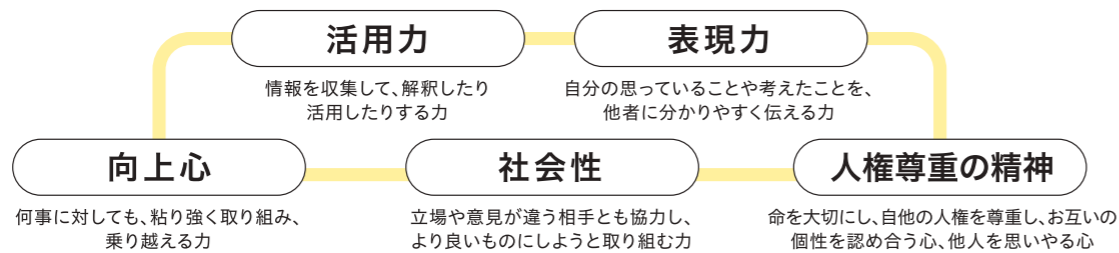
岡山市がめざす教育

『樹人』明日の世界に雄飛する人を樹うる

岡山市がめざす子どもの姿

自らの個性を磨き、選択と挑戦を繰り返すことができる子ども

育てたい5つの力



育む力を測る指標

自分の考えを整理して伝えることができる
児童生徒の増加

全国学力・学習状況調査の記述式問題の正答率の対全国比(岡山市の正答率/全国の正答率)を1以上にする。

情報を収集し、考えをまとめて発表している
児童生徒の増加

探究的な学習をしていると感じる児童生徒の割合を全国平均レベル以上にする。

協力しようとする児童生徒の増加

協力して取り組んだことがうれしいと感じる児童生徒の割合を基準値(R1)から5ポイント以上上昇させる。
基準値(岡山市R1)小学校 89.5% 中学校 83.9%
※全国学力・学習状況調査(文部科学省)

人を大切にできる児童生徒の増加

人が困っているときに進んで助けると考える児童生徒の割合を基準値(R1)から5ポイント以上上昇させる。
基準値(R1)小学校 86.6% 中学校 84.6%
※岡山市教育に関する総合調査

なお、必要があれば、各学校でその特色に応じた定量的な指標を追加設定し、取り組むものとします。

5つの力の基礎としての2つの目標

全国平均レベル以上の学力

全国学力・学習状況調査の偏差値50以上(英語を含む)

新規不登校児童生徒の減少

新規不登校児童生徒(小・中合計)の出現率0.47%以下*

※児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査(文部科学省)

※参考数値 岡山市H30 0.74%

※目標値 H30年度における新規不登校の児童生徒数から不登校を未然に防ぐことができたと考えられる人数を差し引いた数の全児童生徒数に対する割合

岡山市で教員を目指すメリットは？

岡山市内で教員を続けることで、経験値を豊かにして専門的力量を向上しやすい点が優れています。

市内に約130ある公立校は、規模や地域特性のバリエーションが豊富なため、多様な学校、児童・生徒、家庭、地域と出会え、専門性を向上しやすい環境にあります。

岡山市が求める教職員像

「自立に向かって成長する子ども」の育成を推進する教職員

- 岡山市の教育に夢と希望をもち、使命感に燃えている人
- 子どもへの愛情をもち、自らも成長していくことができる人
- 子どもの知・徳・体のバランスのとれた力を向上でできる専門的な知識・技能のある人

岡山市の教職員をめざす学生のみなさまへ

岡山市教育委員会 教育長 菅野 和良

教職員は想像以上に創造的で素晴らしい仕事です。

教職員の道を歩もうとしているみなさんにお伝えしたいことがあります。まず、子どもたちが持つ無限の可能性は日本の将来に光を与えてくれる源であり、我々は仕事を通してその子どもたちから活力、元気をもらえること。子どもたちは良い方にも悪い方にも絶えず変化する存在ですが、こちらが努力すれば子どもたちは必ず応えてくれることです。

教育という人間と人間がぶつかり合う仕事は、大変ではありますが、子どもの成長に向き合える、これほど創造的(クリエイティブ)で、素晴らしい職業は他にはありません。

岡山市では、すべての取組において人権の尊重、生命と尊厳を遵守することを徹底し、そのうえで、「市民協働による自立に向かって成長する子どもの育成」を教育理念として掲げています。自立に向かって成長する子どもとは「豊かな人間性を身につけ」「自分を高める」とともに「共に生きることができる」ように自分自身を確立していく子どものことです。

この教育理念の実現のためには、子どもたちの教育に責任を持って取り組む周囲の大人(教職員、保護者、地域社会など)の存在が欠かせません。子どもたちが「自分は愛されているんだ」と実感できる家庭、学校園、地域社会を市民協働で創りあげてこそ、子どもたちは自分の存在を肯定し、自立に向かって成長することができるからです。

最初から完成された教職員はいません。

岡山市教育委員会では、教育委員会、学校、教職員がめざす子どもの姿を共有するとともに、オール岡山市で取り組みをすすめていこうとしています。岡山市が目指す教育像「自立する岡山っ子の育成」を推進するため、教職員には、「教職に対する情熱」「専門家としての力量」「総合的な人間力」を持ち合わせていることが求められますが、当然のことながら最初から完成された教職員はいません。しかし、そのような教員になる可能性を持っていること、可能性を感じさせる人材である点に重きを置いています。

常により良いものを求める情熱と、良くなりたいという思いを持ち続けてください。そうすれば必ず伸びていくはずですよ。



これからの時代を
子どもたちと同じ目線で共に歩もう。

私は、若い時にサウジアラビアの日本人学校で教師をしたことがあります。帰国後、岡山の子どもたちと接する際には、「温かい国際人の育成」を常に念頭に置いてきました。「温かい国際人」とは、単に海外で活躍する人を指すのではなく、命を大切に、故郷や友達を愛し、文化の違いを受け入れることのできる人、地域社会に貢献できる人のことです。

現在、社会構造や雇用環境は大きく変化し続け、数年後の社会情勢が予測困難な時代となっています。子どもたちには、様々な変化に積極的に向き合い、他者との協働により、持続可能な社会の創り手となることが求められていることから、2020年度末に策定された第2期・岡山市教育大綱では、「自らの個性を磨き、選択と挑戦を繰り返すことができる子どもの育成が不可欠」としています。その子どもの姿は、私の考える「温かい国際人」を基盤にして、将来にわたって目指してほしい姿です。

これからの不透明な時代を生き抜いていくのは教職員も同様であり、「どう生きていくのか」答えのないものであろうと考えます。だからこそ、教職員には、子どもたちと同じ目線で一緒に答えを探し、共に歩む姿勢が必要ではないかと考えております。

みなさんにはぜひとも岡山市で教職員となっただき、これからの時代を生きるために必要な力を、子どもたちと身につけていきたいと思います。希望に満ち溢れたみなさんの柔軟な考え方や実践を大いに期待しています。